

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	保険医療課		
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1. 高齢者の安心な暮らし支援	
分野別方針	(8) 社会保障制度の適正な運用		実施計画事業	1) 制度の適切な運用 (No.9)	
予算等事業名	国民健康保険賦課徴収事業				
目的	社会保障制度の適切な運営のため、運営事務及び保険税(料)徴収事業を行う。				
内容	国民健康保険における国保税賦課徴収に係る経費				
根拠法令・条例等	国民健康保険法、地方税法				
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか						
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか						
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	平成25年度における現年分の保険税収入金額				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	徴収率				
前期(27年度)目標値	93.0%			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	当該年度(現年)の収納率	
	92.5%				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,787	2,523				
財源内訳	一般財源	2,787	2,523				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 国及び県の指導助言を受けながら、町が保険税等を財源に運営する事業である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 制度の安定した運営には保険税の収納が必須となるため、主体となって実施していく必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 計画どおり事業を完了した。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 共同調達を行う等して費用の削減に努めている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も医療費の動向を的確に捉えながら、保険税率の適正な見直しに努める。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・地方税法等の改正に伴った条例の改正を滞りなく行う。 ・口座振替の推奨を行う。 	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	適正な運用ができるよう必要に応じ見直し、検討を加える、		
今後の方向性	運用が広域化されることを見据えながら運用は各市町村となるので健全な運用ができるようにしていく		